

## ■北九州スタジアムの整備

北九州市 建築都市局 建築部 建築課  
スタジアム整備担当係長 有田 隼人

### 1. スタジアム整備の経緯

#### (1)スタジアムの整備決定

平成25年6月、本市はスタジアム整備の着手を決定しました。この事業は、体育協会からの要望やスポーツ振興審議会からの提言を受け、平成21年度から本格的に検討を進めてきたものです。

平成22年11月にスタジアムの構想を発表して以来、「二度立ち止まって、市民・議会の意見をよく聞いて進める」とのスタンスで検討に臨み、多くの議論を積み重ねてきました。このような取り組みにより、街なかの新しい賑わい拠点を造ることについて市民の理解が広がり、スタジアム整備の着手を決定しました。

#### (2)スタジアム整備等PFI事業

スタジアムの整備は、プロも利用する高規格・大規模なスポーツ施設の整備という事業の特性を考慮し、民間のノウハウを活用するPFI事業により実施しています。この手法では、施設の設計・建設から維持管理・運営までを一括して実施することで、より質の高い市

民サービスの提供や維持管理の効率化が可能です。

平成26年7月には、公募(2月に開始)により受付けた事業者提案を、学識経験者等から成る検討会で審査し、九電工グループをPFI事業者を選定しました。その後、9月議会で契約が承認され、約半年の設計期間を経て、本年4月、本体工事に着手しました。

### 2. 事業の概要と効果

本事業では、都心部に人が集い、賑わいあふれる北九州市の創出を目指し、スタジアムの整備を進めています。Jリーグやラグビートップリーグなどの試合、グラウンドゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放などに加え、まちに賑わいを生み出すイベントの開催することで、市民に夢と感動を提供することを目標としています。また、このような高規格・大規模施設は、本市のシンボルとして、市民の一体感の醸成や都市ブランド向上等、様々な効果を生み出します。

#### 【施設の概要】

- (1)建設地 北九州市小倉北区浅野三丁目(2.7ha)
- (2)施設規模 1.5万席(将来2万席以上に拡張可能)
- (3)整備費 約99億円(維持管理運営費を除く)



小倉駅新幹線口地区の現況



北九州スタジアムの外観イメージ

### 3. 北九州スタジアムの特徴

#### (1)街なかスタジアムの整備

本事業は、「市民に夢と感動を！子どもに元気と目標を！まちに誇りとにぎわいを！」というスローガンを掲げ、4つのコンセプトに基づき、実施しています。

- ① みんながつどい、にぎわいを生む  
“海ちか・街なか” スタジアム
- ② 夢と感動を生み出す“ダイナミック”スタジアム
- ③ 環境未来都市にふさわしい“エコ”スタジアム
- ④ ものづくりの街北九州を発信する  
“街かどショールーム”

特に、今回は、「街なかスタジアム」の観点から建設地を選定しており、JR小倉駅から直線距離で500mという利便性の高さが魅力です。新幹線停車駅に近く、フェリー乗り場も近接する立地は、国内のスタジアムで最も便利がよく、全国的に注目されています。また、駅周辺のコンベンション施設やホテル等の都市機能を活用し、大規模国際大会のキャンプ地誘致等にも取り組んでいます。さらに、利便性が高い立地特性を活かし、環境に優しい公共交通による来場を促すなど、都心部への交通手段を転換することもねらいです。

#### (2)スタジアム周辺の賑わい施設整備

街の賑わいや魅力を更に高めるため、北九州スタジアムや既存の周辺施設と連携し、歩行者が安全・快適に回遊できる「賑わい施設」の整備を行います。市民の皆さんをはじめ、当地区の来訪者が幅広く利用できるようにすることで、地区全体が活性化することを目指しています。

##### ①(仮称)浅野町緑地 (約4,000㎡)

スケートボードやストリートダンス等ができる広場として、また、スタジアムや周辺施設と連携した各種イベント等の場として利用

##### ②砂津緑地 (約6,000㎡)

親水性を高め、海辺の魅力を感じながら散策できる空間の創出

##### ③横断歩道橋 (幅員8m)

(仮称)浅野町緑地からタコマ通りを横断し、スタジアム経由で、砂津緑地に至る回遊ルートの一部として整備



北九州スタジアム周辺の賑わい施設

#### (3)施設の観戦環境向上

北九州スタジアムでは、最前列の観客席とタッチラインの距離が8mと非常に近く、また、最前列をピッチにできるだけ近いところまで低くするなど、イングランドスタイルのスタジアムを参考に、国内のスタジアムとしては初の「ゼロタッチ」を実現しています。このため、アスリートの声や息づかいなど、テレビでは味わえない躍動感と臨場感を楽しめます。また、ファミリー席や車椅子席の設置に加え、ガラス張りのラウンジを備えたVIPシートやビジネスシートをメインスタンド3階に備える等、ハイレベルで快適な観戦環境も魅力です。

### 4. 整備費と財源

北九州スタジアムの整備費は約99億円を予定しており、このうち30億円はスポーツ振興くじ(totoくじ)助成金を受ける計画です。この助成は、(独)日本スポーツ振興センターが、くじの収益を財源として、子どもからお年寄りまで誰もがいつでも身近にスポーツを楽しめる環境整備等のために行っています。北九州スタジアムの整備は国内2例目として、この助成金の交付に向けて要望活動を進めています。(1例目はガンバ大阪の新スタジアム)

## 5. 工事の進捗状況と今後の取り組み

北九州スタジアムの整備は、Jリーグの平成29年シーズン開幕に合わせ、平成29年3月の供用開始を目指し、進めています。

本年4月に着工して以降、工事は順調に進捗しており、6月末時点で、建物を支える杭を全241本中188本施工しました。8月からはスタンド本体の工事に取り掛かる予定で、その頃から、建物の形が徐々に見えてきます。

今後、地元経済団体・市民団体等で設立した「スタジアム応援団」を中心に、市民の皆様と共に様々なイベントを企画・開催し、小倉駅周辺に多くの人が集い、まち全体が賑わうよう取り組んでいきます。

(2015年6月入稿)

---

## 第1回 日本都市計画学会九州支部幹事会議事録

日時：平成27年4月4日（土） 12:20～12:30

場所：九州大学西新プラザ

出席者：外井哲志、坂井猛、橋本信幸、吉武哲信、内田智昭、大枝良直、加知範康、嶋本寛、辰巳浩、趙世晨、塚原健一、堤昌文、鶴崎直樹、永村景子、姫野由香、日暮光一郎、箕浦永子、山下三平、吉城秀治（19名）

### 議事内容

1. 前回議事録の確認（吉武）
  - ・事前メール審議にもとづき平成27年2月6日（金）開催分の第6回会議内容を確認した。
2. 「支部ニュース」（4月分 No. 74）（箕浦）
  - ・別途資料に基づき、「支部ニュース」（4月発行分）について紹介・承認された。
3. 都市計画学会学術研究発表会の準備状況について（嶋本）
  - ・資料に基づき、学術研究発表会（宮崎大会）の準備状況が報告された。
4. 総会資料の確認（永村）
  - ・総会資料に基づき、内容確認および説明者の確認が行われた。

## 5. その他

- ・総会・九州まちづくり賞表彰式・ポスターセッション・懇親会のスケジュール等を確認した。

---

## 第2回 日本都市計画学会九州支部幹事会議事録

日時：平成27年5月29日（金） 16:00～17:00

場所：九州大学西新プラザ

出席者：外井哲志、橋本信幸、吉武哲信、有馬隆文、伊東博史、内田智昭、嶋本寛、趙世晨、堤昌文、永村景子、日暮光一郎、箕浦永子、山下三平、吉城秀治（14名）

### 議事内容

1. 前回議事録の確認（吉武）
  - ・事前メール審議にもとづき、平成27年4月4日（土）開催分の第1回会議内容を確認した。
2. 九州支部総会報告（研究発表会実施報告、課題等）（吉城）
  - ・別途資料に基づき、研究発表会の実施が報告された。
  - ・口頭発表の応募が多かった場合、発表時間の確保が課題となる。
  - ・今年度は試行で実施したが、次年度からは本格実施となることが総会で議決されている。
  - ・当日のスケジュールの組み替えなどが可能か、検討が必要であろう。
  - ・PSの応募が増えすぎた場合の採点が難しい。全員が全作品を審査するのではなく、グルーピング等の対応を今後検討する。
3. 平成27年度顧問幹事（案）（吉武）
  - ・資料に基づいて説明・確認された。
4. 支部幹事会内の役割分担（吉武）
  - ・資料に基づいて説明・確認された。
  - ・支部主催シンポジウムは、今年度は宮崎大会でのWS等の実施に変えるかどうか、検討する。→都市構造PDCA研究分科会に関して、宮崎大会にてWSを実施したい。セッションや会場を押さえるには、どのタイミングでどんな手続きがあるか、研究分科会メンバーで検討している→事務局の

- 吉田氏に有馬幹事から問い合わせしてみる。
- ・CPDは主催者の証明書フォーマット作成が必要かもしれない。
  - ・支部活動の検討は、今年度は新たな活動内容は検討せず、近年新規に持ち上げた活動を充実化させる。
  - ・中四国支部連携は最近活動がないため、担当は置くがしばし休眠状態とする。
  - ・支部情報担当は、H25年度に支部HPの本部HPへの統合問題があった際に多少の動きがあったが、全く動いていない。担当は一応、置いておく。
  - ・まちづくり賞は軌道に乗るまでは引き続き趙幹事・橋本幹事を担当とする。
5. 平成27年度年間スケジュール(吉武)
- ・資料に基づいて、説明・確認された。
  - ・11月は宮崎大会に合わせて実施するため、日程が多少前後する可能性もある。
  - ・九州まちづくり賞スケジュールは研究分科会に合わせて修正してほしい。
6. 平成27年度幹事会議題(吉武)
- ・資料に基づいて、説明・確認された。
  - ・来年度の総会日程は、4月2日(土)を第一候補とする。会場は天神・博多を含め検討する。
7. 「支部だより(6月号)」の確認(報告)(永村)
- ・資料に基づいて、学会誌6月号掲載予定の説明、確認された。
8. 名義後援(審議1件、報告1件)(永村)
- ・2015年アジア都市景観賞の名義後援について審議・承認された。
  - ・アジア景観デザイン学会の名義後援について、メール審議にて承認されたことを依頼者に承諾回答したことが報告された。
9. 会計報告
- ・資料に基づいて、4月末時点での支部会計報告がなされた。
10. 理事会・定時総会報告(4月14日、5月22日分)
- ・資料に基づいて、本部理事会・総会について説明・報告がなされた。
11. その他(平成27年度学術研究発表会(宮崎開催)について)

- ・学会前後にフィールドトリップを企画。11/7に日向市駅、11/9に堀川運河整備プロジェクト、油津商店街再生プロジェクトの見学会を企画している。詳細は学会誌6月号を参照してほしい。
- ・幹事会は11月8日(日)のセッション終了後に開催することとする。
- ・今年度の都市計画サロンについて、7月の第1回目は九州大学の馬奈木先生には外井先生から依頼する。その他候補としては、長崎の論文賞に関して、九州内の国立大学の新学部構想について、など。引き続き、候補があれば情報提供願いたい。
- ・都市構造PDCAは宮崎大会で実施できなかった場合は、2~3月にサロン等で報告の場を設ける。
- ・学術委員会には、論文が例年よりは応募が多い。近年の論文採択率は5~6割程度である。

---

#### ■支部ニュースに関する問合せ・連絡先

支部ニュースに関するお問い合わせやご意見等がございましたら下記までご連絡ください。各種イベント(シンポジウムや講演会等)のお知らせ等を掲載することも可能です。案内文を下記までお寄せください。

【公益社団法人日本都市計画学会九州支部事務局】

TEL& FAX : 092-802-3435

E-mail : cpjij-q@doc.kyushu-u.ac.jp